

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	戸建て住宅設計小委員会		主 査 名：福田展淳 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境設計運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：岩田三千子
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・戸建住宅の熱・光・空気・音環境について、環境工学の立場から、その先端研究の調査を進める</p> <p>・戸建住宅の居住環境を議論し設計に活かすための情報発信を行う。</p> <p>特に近年、高気密・高断熱化、24時間換気、省エネ改修など戸建て住宅の熱環境や空気環境に関する環境工学的側面が実務設計に大きな影響を与えており、その設計指針について、環境工学分野での関連論文をまとめ、情報発信を行う。</p> <p>1 年度：戸建住宅に係わる既存論文調査 発信すべき情報の整理</p> <p>2 年度：講習会／シンポジウムの開催</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：福田展淳(北九州大学) 幹事：隈裕子(サイバー大学) 委員：尾崎明仁(京都府立大学)、高偉俊(北九州市立大学)、中島祐輔(工学院大学)、木村孝博(きむら設計)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	115,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	梅雨期の床下結露の実態に関する既存論文の確認と問題点の指摘、省エネルギー基準改正にともなう伝統木造構法への影響などの議論、調湿性能向上による住環境改善の可能性と評価等に関する議論を行い戸建て住宅に係わる環境工学分野での課題を整理した。達成度 85%。
委員会活動の問題点 ・課題	委員が東京、京都、九州とまたがっており開催に際し旅費がかかり、年 2 回(京都 1 回、九州 1 回(予定))の開催となった。以前の NTT 回線は安定しており、3 者でのネットワーク参加が可能であったが、Skype で三者以上の参加の場合、回線が安定しなかった(2013 年 3 月時点)。